

日本建築学会北海道支部 2004 年度第 5 回常議員会議事録

記：南出

日 時： 平成 17 年 3 月 14 日（月）17:30～19:30

場 所： 日本建築学会北海道支部事務所（大通ダイヤビル）

出席者： 支部長：城

常議員：小幡、菊地、向山、杉山、高橋、塚田、鳥谷部、南出、八代

総務委員長：後藤

事務局：菊地

配布資料

【報告・承認事項】

2004 年度第 4 回常議員会議事録（案）	資料 5 - 1
本部理事会、支部長会議報告	資料 5 - 2 + 回覧資料
柴田拓二先生大賞候補者推薦について	資料 5 - 3
学会支部役員候補者の推薦方法に関する要望書	資料 5 - 4
2004 年度決算見込みについて	資料 5 - 5
事業主査連絡会について	資料 5 - 6
支部選挙管理委員について	資料 5 - 7
道内工業高校巡回講演会の報告について	資料 5 - 8
後援依頼について	回覧資料（下記 1）～3）
1）International Forum on Cold Region（北大工学研究科）	
2）竹山実建築展（同名実行委員会、札幌芸術文化財団）05.2.7 受信	
3）再生コンクリートの実用化への課題と展望（JCI 北海道支部）05.3.4 受信	
4）清家清展（清家清展実行委員会）	資料 5 - 11

【議題】

2005 年度支部特定課題研究委員会について	資料 5 - 9
2005 年度建築文化週間について	資料 5 - 9
2005 年度予算編成について	資料 5 - 5
社団法人北海道建築士会 CPD 認定評議会委員 及び専攻建築士制度審査評議会委員の推薦について	資料 5 - 10 + 回覧資料
支部交付金の弾力的活用について	資料 5 - 2
支部功労賞について	回覧資料

議事内容

【報告・承認事項】

2004 年度第 4 回常議員会議事録（案）	資料 5 - 1
・報告事項の について、後藤総務委員長より、今後は支部卒業設計審査会と全国学生卒業設計コンクールの審査が同時に行われることはないとの報告がなされた。	
・出席者の内向山委員を削除し、また報告者向山委員を全て菊地委員に置き換えることで議事録	

は承認された。

本部理事会、支部長会議報告

(支部長 / 資料5-2 + 回覧資料)

- ・新建築士制度(案)についての説明がなされた。
- ・支部の電子会議室は本年4月より利用可能。マニュアルは近日発行される。本部の電子会議用プロバイダーを支部に時間単位で有料で貸し出す。

柴田拓二先生大賞候補者推薦について

(支部長 / 資料5-3)

- ・柴田拓二先生を2005年度支部推薦候補者とする。主たる推薦理由は学会の建築教育に関する功績。

学会支部役員候補者の推薦方法に関する要望書

(支部長 / 資料5-4)

- ・常議員の資格条件(正会員であること)に関する本部への要望、同経緯の説明。

2004年度決算見込みについて

(後藤 / 資料5-5)

- ・3月までの決算が確定していないが、見込みとして240万円を次年度繰越と出来る予定。
- ・大会での余剰金を基金化して毎年取り崩すことを前提としなければ予算が成り立たない現状の説明。

事業主査連絡会について

(菊地 / 資料5-6)

- ・各事業委員会のリンクの問題や、活性化については、今後(WG立ち上げを含めて)検討をすすめる。

支部選挙管理委員について

(支部長 / 資料5-7)

- ・規定に従い下記の5名にて承認された。今後、当人の了解を得る必要がある。

飯田雅史(道工大) 塚田哲也(大成建設) 那須豊治(岩田建設)

羽山広文(北大) 南出孝一(ドーコン)

道内工業高校巡回講演会の報告について

(小幡 / 資料5-8)

- ・例年好評である(感想として、貴重な体験を得た、OHPによる説明は判り易い、等)。

後援依頼について

(支部長 / 回覧資料)

1) International Forum on Cold Region (北大工学研究科教員)

2) 竹山実建築展(同名実行委員会、札幌芸術文化財団)05.2.7 受信

3) 生コンクリートの実用化への課題と展望 5/13 (JCI 北海道支部) 05.3.4 受信

- ・上記1)2)3)を後援することを承認。

本部災害委員会の北海道支部委員の推薦: 南慎一氏(都市防災専門委員会主査)

(支部長)

- ・任期2年(2005~06年度)

- ・南慎一氏を推薦することを承認。

清家清展

(八代、資料5-11)

- ・10/8~11/5、札幌市立高等専門学校にて。

- ・学会支部にて後援することを承認。

【議題】

常議員の辞任及び次点者の常議員就任について (支部長)

- ・八代克彦委員が支部外に転出することとなり、北海学園大学の米田先生が後任となる。

2005年度本部 / 支部特定課題研究委員会について (支部長、資料5-9)

- ・特定課題研究「寒中コンクリート施工に関する調査及び課題検討」が承認された。
- ・本部助成特定課題研究は「中高層分譲マンションの外断熱改修事例研究」が、既に3月理事会で承認されたのでこれを追認した。

2005年度建築文化週間について (支部長、資料5-9)

- ・「小樽の歴史的建造物の今と未来」「地球社会の生き方がし」が予算と共に承認された。

2005年度予算編成について (後藤、資料5-5)

- ・具体的な2004年度決算および2005年度予算案は決算が確定した後、常議員幹事会で作成し、4月の常議員会で決定する。いずれも支部総会にて承認した後に確定する。
- ・各専門委員会の運営費について協議し、「学会支部専門委員会主催の見学会等は、これまでの直助成を廃止し、学術振興基金の企画行事として各委員会より申請を行うこと」が承認された。

支部功労賞について (菊地 / 回覧資料)

- ・2005年度総会にて法人・賛助会員31年以上の16社を表彰する事とした(予算16万円)。
- ・当面は15~16社×3年間実施の予定。
- ・「表彰盾」形式の案を提示。

社団法人北海道建築士会 CPD 認定評議会委員

及び専攻建築士制度審査評議会委員の推薦について (支部長、資料5-10+回覧資料)

- ・両会議とも連絡会議の色合いが濃い。認定自体は別組織で行う。年2回、任期2年。
- ・CPD 認定評議会委員、専攻建築士制度審査評議会委員とも鳥谷部委員を推薦することが承認された。

支部交付金の弾力的活用について (支部長、資料5-2)

- ・事業交付金(支部研究補助費等4項目)約100万円は、かなりの自由度での運用が可能になったので、予算案に反映させる。

理事会支部報告のシステム化について (支部長、回覧資料)

- ・理事会における支部報告の欄に活動内容が掲載されているが、専門委員会や研究委員会の報告がされていない。毎月20日締め切りとして、支部の全委員会から報告を提出して貰う。掲載が容易になるように、書式等については後日検討を行う。

北海道建築設計会議からの報告

- ・今後「福祉のまちづくり」を主要なテーマの一つとして活動したい。
- ・各所属団体の会員数の動向について問合せあり(後日検討)。

次回

- ・平成17年4月28日(木)17:30~19:30 支部会議室
- ・総会議案書提出の見込